

192 南山大学 経営学部 経営学科 合格

僕が受験生として1年過ごして大切だと感じたことをいくつか書きます。

1つ目は、目標を立てることです。目標は少し高めな所を目指すといいと思います。そうすることで自分の中での甘い気持ちが消えて、勉強しなければ落ちてしまうという危機感が生まれます。なので、より一層集中して勉強に臨むことができるからです。

2つ目は、教材の選び方です。受験生になる皆さんは勉強するために様々な問題集や参考書を買うと思います。その時に気をつけるべきことは、自分のレベルにあったものを買うということです。最初のうちは応用問題などの難しいものではなく、基礎を固められるようなものがおすすです。例えば僕の場合は、英語の教材でいうと授業でも使っている『Scramble』やどの書店でも売っている『ターゲット 1900』を使って勉強していました。また、使う教材は次から次へと変えてしまうのではなく反復して暗記していくのがいいと思います。

3つ目は、最後まで諦めずに頑張るということです。これが皆さんに1番伝えたいことです。とにかく諦めなければ最後まで結果は分かりません。実際僕は第1志望の大学の模試の判定はほとんどが『E』でした。特に最後の模試では今までの中で最も低い偏差値をとってしまい、とても落ち込みました。しかし、そこで諦めず試験当日まで勉強し続けた結果受かることができました。もしかしたら受かったのは実力ではなく試験当日の勘が冴えていたのかもしれませんが、ですが、もし諦めていたら合格することはありませんでした。だから少しでも可能性があると思ったのなら、最後まで諦めることなく頑張ってみてほしいです。

最後に受験生の皆さんにとって大変な1年になるとと思いますが、悔いのないように精一杯頑張ってください。応援しています。

193 愛知学院大学 短期大学部 歯科衛生学科 合格

私は受験生活を終えて、特に大切だと感じたことを書きたいと思います。

まず、コツコツと継続することです。毎日授業の前に予習をすることで、授業で習うポイントが分かり理解しやすくなります。そして、必ずその日のうちに復習をしましょう。予習復習を毎日やるのは時間もなくて大変かもしれないけれど、継続することでとても成績が上がりました。テスト前にいつも焦ってしまう人は、特に授業時間内でしっかり理解しておくことで余裕を持ってテスト勉強に励むことができます。

次に、日頃の小テストを真面目に勉強することです。南高は1年次から小テストが多く、毎日大変ですが、どうせ勉強するならしっかりやるべきです。受験生になってから1、2年の学習範囲を最初からやり直す時間はありません。受験問題は1、2年の内容が半分以上を占めるので、基礎を固めることが大切です。そのためには、日頃の小テストをその場限り合格するためだけにやるのではなく、自分の実力をつけるために、毎日少しずつ積み重ねて覚えていくことが大切だと思います。丸暗記だとすぐ

に忘れてしまうので、毎日寝る前に少しずつ暗記することをオススメします。

また、共通テスト対策を補習や授業のときにたくさん行うのですが、本番さながらにやることで自分の苦手なところや得意なところを把握でき、問題の傾向を掴むことができたのでとても役に立ちました。先生方が解き方のポイントも教えてくださるので密度の濃い対策になります。

私は専門学校も受けたので、面接や小論文がありました。面接は何人かの先生に見てもらうことで様々な視点からの的確なアドバイスがもらえ、自分では気が付かなかったことを知ることができます。小論文は国語の先生に添削してもらい、段落構成や話の展開など細かいところを指摘してもらえたので、先生を是非利用しましょう。私は先生方の言う通りに勉強したら、特待生をとることができました！

最後まで諦めず、頑張ってください！！

194 愛知大学 経営学部 経営学科 合格

僕が受験生として1年を過ごして、感じたことをいくつかお伝えします。

まず1つ目は、学校を楽しむことです。受験勉強は正直辛いので、学校を休んで1人で平日家で勉強するより、学校にしっかり行って周りの友達と頑張って勉強をした方がいいと思います。学校に行くことによって生活リズムを保つことも出来るので、学校に行くことにデメリットはないと思います。

2つ目は、分からないことは自分1人で解決しようとせずに積極的に周りに聞くことです。僕の場合ははじめ受験の事なんてほんとに何も分からなくて不安ばかりでしたが、周りの人に聞くことで不安は減るので、わからないことは聞いたほうがいいと思います。ですが、勉強で分からないことは一度自分で考えてから聞いた方が頭にも残りやすいので、一度考えてからきいたほうがいいと思います。

3つ目は、得意教科を作ることです。やっぱり得意教科が1つあるだけで受験本番とても心強いので、あるに越したことはないです。また、正直受験は英語が出来るだけでとても楽になるので、迷ったら英語をやりまくるのがいいと今になって思います。ですが、1教科だけをやって他の教科がおろそかになってしまったらいけないので、学校からもらえる単語帳などは先取りしてやっても大丈夫です。あと、模試でE判定やD判定が出ても気にやまないでください。僕もずっとE判定でしたが合格できたので、気にしすぎることは絶対にやめた方がいいです。

恐らく受験生としての1年はとても辛いと思いますが、適度に息抜きをして自分のペースで勉強をすることが大事なのでがんばってください。

195 南山大学 人文学部 心理人間学科 合格

私は、受験生活の中で限られた時間をどのように過ごすかが、経験上1番重要だと思いました。まず、自粛期間中から毎日勉強することを心がけ、国語・英語はもちろん、特に日本史を頑張りました。日本史は他の人には負けないという強い気持ちで勉強し、初回の定期テストで1位を取りたい一心でした。日本史は教科書がボロボロになるまで読みました。結果、日本史は1位を取ることができ、その後に繋ぐ良いモチベーションになりました。

次に、授業・補習・模試の受け方です。私は、先生の授業が1番大事だと考え、予習復習を怠らずにやりました。授業で自分が当たってない時も解答を考えながら受けていました。予習復習をきちんとすることによって覚える量も増え、どんどん授業の理解度が深まることに嬉しさを感じました。理解出来なかった所を必ずメモし、放課を利用しながら、何回も復習することが大事だと思います。私の場合、模試の結果は良い時もあれば、悪い時もありました。特に辛かったのは、共通テスト直前の模試で得意としていた教科の点数が取れず、判定が下がってしまった時です。でも落ち込むだけではなく、できなかった所を理解できるまで復習しました。

そして、私が最も重要視したのは、共通テストです。当然文Iの方々は、志望大学の赤本を解くことは前提の話ですが、共通テストで高得点を取る事は私立テストの共通プラス方式や、共通利用で使えることがあるのでしっかり対策することが大事だと思います。私も、共通利用で出願することが出来て、日程的に一般入試では受けることの出来なかった大学に合格することが出来ました。共通テストで点数を取ると、ゆとりと自信を持って一般入試に臨むことが出来ます。学校の補習や授業は万全なので、先生と自分を信じて最後まで志望校に向かって頑張ってください。

196 南山大学 人文学部 人類文化学科 合格

- ① 授業の予習と復習を徹底する。授業は全ての基礎になります。自力で考えて疑問点を明白にしてください。予習するのとしらないのとでは、授業での理解度が全然違います。予習での疑問点を授業で解消して下さい。授業でも不明な点はそのままにせず必ず質問して、疑問点をゼロにしてください。板書していなくても先生方は大切なことを述べているので、授業中にメモしておいて家で復習しましょう。復習するだけで授業の定着度が上がります。
- ② 週末課題は丁寧に取り組んでください。基礎の確認になりますし、定期考査の得点に直接繋がります。
- ③ 時間はかけすぎない。私自身分らない時や疑問点が挙がった時に、その1問に何時間もかけてしまう事が多々ありました。粘り強く取り組む事は大切ですが、時間をかけすぎるのは良くないです。調べても分からないことは翌日に質問しましょう。
- ④ やれることはその日のうちにやり終える。朝学プリントや授業の復習などを溜めておくといずれ膨大な量になってやり切れなくなります。

- ⑤ 多くの参考書に手を出さない。皆が持っているからなんとなく買って結局やらなかった物、中途半端で終わってしまった物が沢山あります。中途半端な物があると不安要素にもなるので、限られた参考書を何周も反復して極めましょう。
- ⑥ 無駄な時間を作らない。放課や登下校中、ご飯の時間なども勉強して、勉強していない時間を作らないようにしていました。
- ⑦ 基準を高くする。皆がハードだと思っていることを自分の当たり前にしましょう。
- ⑧ 点数に繋がる勉強をする。今自分がやっている事が入試の得点に繋がるのかを常に考えてください。時間は有限です。限られた時間をより効率的に使いましょう。
- ⑨ 自分を信じる。過信するのはよくないですが、直前期には自分が今までやって来たことを信じて貫くことが大切です。
- ⑩ 自分に負けずに最後まで諦めない。後悔するのは自分です。自分に厳しく、試験の1秒前まで諦めずに粘ってください。

197 愛知医科大学 看護学部 看護学科 合格

私は勉強する事が何よりも嫌いで、受験生の間何回も逃げ出したくなりました。そんな私でも第1志望校に合格出来たのは間違いなく南高のお陰です。目標に向かって一緒に勉強した心強い友達、一生懸命サポートして下さった先生方の存在は受験を乗り越えるために必要不可欠でした。

受験は団体戦とよく言われますが南高はみんなで頑張ろうという雰囲気が凄く、学校へ行けばみんなが勉強していて1人じゃないと思う事ができ、私も一緒に勉強しよう、と最後までやり抜く事ができました。補習が多くて面倒くさいと思う事もありましたが、家で1人でやっている不安で心細くなりますが、長期休みでもみんなと一緒に勉強ができ、やる気が出なくてもやるしかない状況を与えてくれる補習は今考えると強い味方でした。もちろんしっかり補習をこなせば、直前まで成績がぐんぐん伸びます。心が折れそうな時期もありましたが、最後まで参加して本当に良かったです。伸び悩んだとしても周りには私より遥かに勉強している友達が沢山いて、具体的にアドバイスを貰えました。私は思うように点数が取れなかった時、勉強が得意な友達の勉強方法を教えてもらいコツを掴む事ができました。お手本となる人が沢山いるのも南高の強みだと思います。

しかし後悔していることもあります。1、2年生の時にスクランブルに真剣に取り組まなかった事です。苦手だったという事もありましたが、重要性を分かていませんでした。1日10分でも良いので開いてください。受験でとても役に立つし、少しやるだけで点数が変わります。先生方にあれだけ言われていた意味が今では良く分かります。

受験は人生で1番辛かったです。1番勉強した1年でした。ですが、追い込めば追い込むほど乗り越えた後の達成感や感動が大きく、とても良い経験になります。受験という経験が貴重な宝物になります。皆さんにも是非この達成感を味わって欲しいです。

198 愛知大学 法学部 法学科 合格

まず、志望校はできるだけ早く決めるといいと思います。目標を定めないと、前へ進めないし迷子になります。4年間通い学ぶのは親でも先生でもなく自分です。将来何をして生きていきたいのか、そのために何を学ぶべきか考えてみてください。可能であればオープンキャンパスへの参加もお勧めします。私も実際参加したところ、何か違うと感じて志望校から外した大学がありました。

私は、部活も遊びも趣味もそして睡眠もゆずれなく、正直参考書とか何をやっていいのかわからなかったの2つのことだけを頑張りました。

1つ目は、授業・補習は休まず受ける。(3年間皆勤でした。部活も最後まで活動し、苦楽を共にした最高の仲間もできました。) 2つ目は、予習・課題・配布プリントなどはきちんとやる。(定期テストもほぼそれで苦労はなかったです。) 結果として、基礎・基本の部分をしっかり固めておけたのだと思います。

学習について1つ挙げるとしたら、だらだら時間をかけて勉強しても無意味だということです。私は、短時間・超集中型なので1時間勉強→1時間趣味→1時間勉強→1時間趣味を繰り返しました。学習の仕方は人それぞれです。自分が集中できる場所やペースを早く見つけるといいと思います。受験については、地元の私大はだいたい共通テスト利用入試があるので、学校での共通テスト試験対策を中心に進めるのも1つの方法です。2次試験で共通テスト利用をする場合、必要科目で高得点を取っておくとかなり有利です。私の場合は、現代文で9割以上、他もそれなりに取れたので気持ちに余裕を持って2次試験に挑むことができました。赤本を本格的に取り組み始めたのは共通テスト後からです。ちなみに赤本はオープンキャンパスへ行くと貰えたりします。難関校に向かって努力していた友達や、人知れず頑張っていた友達もいました。目標が違っても仲間がいて心強かったです。そしてなにより、先生方が私たちを支えてくれました。結果がどう出ても、有意義で貴重な経験を得られます。頑張ってください。

199 愛知教育大学 学校教員養成課程 高等学校教育専攻 国語・書道専修 合格

私がこの1年を通して感じたことを、いくつか書きたいと思います。

まず、1番大事にして欲しいことは、授業をしっかりと受けることです。授業に集中することはもちろん、予習や復習をして授業内容を定着させることが重要です。家で勉強するよりも授業を真面目に受ける方がずっと学力が伸びる、と私は考えます。また、授業で分からないことがあったら、すぐに先生に質問することも重要です。授業は大量にあってどんどん分からないことが増えていくので、その都度解決していく必要があります。

次に、模試や演習を大切にしてください。特に復習を大切にすべきです。一度出てきた

問題を次に出てきた時絶対に解けるようにすれば、次第に学力は向上します。国語は解説を読んでどうしてその答えになるのか理解すること。英語は知らない単語を知ることと解答の根拠を把握すること。数学はどうしてその解法を使うのかまで理解すること。社会は自分が覚えているつもりで覚えていないことを知り、改めて覚えること。理科は数学と同じで、解法を使う理由を理解すること。これらを毎回繰り返せば、未知の問題に対しても対応できる力がつきます。また、判定は志望校と自分の距離感を知ることができます。良い判定であれば油断することなく、自信にしてください。悪い判定でも自信を失うのでは無く、あと何点上げれば上の判定になるのか確認し、何が足りないか知ることモチベーションに繋がってください。

最後に、諦めない気持ちが大切です。最後の最後まで努力し続けてください。辛くて辞めなくなったら周りを見てください。クラスメイトや先生、親はみんな応援してくれます。決して1人ではないです。最後まで努力し続けたら、どんな結果になっても最終的に納得がいくと思います。だから、どんなに辛くても周りを見て努力し続け、良い未来を掴んでください。

200 岐阜大学 地域科学部 合格

私にはこの3年間を通じて大切だと感じたことが、二つあります。

1つ目は、あきらめず努力することです。第1志望の大学は経済的な事情で受験できず、第2志望の大学を目指しました。共通テストではD判定でしたが2次逆転を狙い出願。目標はかなわず前期試験で不合格。そして第3志望の大学に後期試験で合格し、通うこととなりました。つまり私は本当に行きたかった大学に合格することができなかったのです。前期試験に不合格だった時、本当に悔しくて、ふがいなくて、何度も涙を流しました。それでも最後、受験が終わったとき、私は自分のことを誇りに思うことができました。それは、挑戦することをあきらめなかったからこそだと思います。模試ではE判定ばかりかもしれませんが。実際自分もそうでした。でも自分を信じてあきらめないことが本当に大切だと思います。

2つ目は、1つのことを最後までやり遂げるということです。私は、夏まで部活を続けました。また、毎日欠かさず、3年生になってからは朝7時に登校し、引退してからは最終下校まで学校に残って勉強しました。どんな小さなことでもいいと思います。その小さな積み重ねが大きな自信につながりました。このことは、勉強でもそうだと思います。毎日単語帳、教科書、文法書を読み込むことの積み重ねが点数につながりました。

後輩の皆さん、高い目標をもって死ぬ気で努力してください。自分はこの学校に入学した最初テストでは、ほぼ最下位でした。それでも最終的には高いレベルの大学を受験することができました。文系でハイレベル、トップレベルの大学を目指す皆さん、周りの仲間たちの大半は途中で受験が終わります。国公立大学を目指す人でも中には補習をさぼったり、補習

の空きコマの自習の時間に騒いだりする人もいます。それでもそんな中ぶれずに努力し続ける生徒を応援してくれるたくさんの先生がいます。努力は必ず報われるわけではないと思います。それでもあきらめず最後までやりきるそのプロセスを、見ている人は見えています。

目標にしていた大学に通うことができなかった自分が言うことではないかもしれませんが、できる限り悔いのないように、頑張ってください。心から応援しています。

201 三重大学 人文学部 法律経済学科 合格

これから受験生となる方々に、受験を終えた私から大切だと思ったことを書きたいと思います。

最初に、勉強は継続しなければならないということです。私は1年生の頃からわりと勉強していたので、3年生になる頃には毎日勉強するという習慣がついていました。いきなり勉強すると決めてもなかなか続かないと思うので、出来るだけ早くから勉強習慣がつくように取り組んで欲しいです。最初はキツイかもしれませんが、逆にこれ以上何をすればいいかわからないところまで勉強を頑張ったら勝ちです。粘り強く取り組んでみてください。

2つ目に、規則正しい生活を送るということです。私は、平日は早起きして土日は昼に起きる生活を1、2年は送っていましたが、3年生になってからは土日でも平日と同じ時間に起きて勉強しました。私は早起きは苦手な方ですが、1ヶ月くらい続けたら慣れて起きられるようになりました。健康体になれるし、朝から勉強すると1日のモチベになるのでやってみてください。

3つ目に、困った時はすぐに誰かを頼ってください。模試でいい点数取れなかったとか苦手な教科があるなど、些細なことだとしても友達や先生に相談してみてください。そのままなおざりにしていたら後悔するし、本番前にすごく不安になります。また、受験は長期戦でかなり精神的にしんどくなるので、不安があったら溜め込まずに吐き出してください。私は共通テスト前の1週間くらいの冬休みの時に、最後の追い込みで頑張らなきゃと思ってめちゃくちゃ勉強しました。しかし、頑張りすぎたせいかヒートアップしてしまい、その後体調を崩したり精神が崩壊してどんどんネガティブ思考になったりと大変でした。そんな時に担任の先生が心配して電話して下さり、友達がすごく心配して励ましてくれました。それがすごく嬉しくて心強かったし、なんとか体が本番までに治ってやり遂げられました。辛い時に先生や友達が支えてくれるというのは、本当に幸せな事だと思いました。なので、常に自分と関わる周り人々を大切にしてください。

4つ目に、自分にとって大事だと思ったアドバイスだけ取り入れるということです。受験生中、きっとたくさんの人からたくさんのアドバイスをされると思います。私は結局どのアドバイスに従えばいいのか分かりませんでした。何が正しくて何が良くないかは全然ないので、自分が使えそう、やってみたいと思ったアドバイスのみ取り入れるという感覚で捉えてください。

最後に、模試の判定で決めつけるな！ということです。何回か受ける模試で判定が毎回出ます。判定が悪くても全く落ち込む必要はありません。間違えたところを何度も復習して、次に繋げるための手段として模試を扱って欲しいと思います。逆に模試の判定が良かったとしても、もっと向上心を持たなければ、他の人に抜かされて成績はすぐに下がります。模試は自分がどれだけ成長したかを実感する分にはとてもいいですが、判定が全てではないし、あまり過信しないでください。本番で点が取ればいいので、模試は本番のための復習材料として前向きに取り組んで、復習を何度も行ってください。

受験生は長いようであつという間です。辛いのは周りの友達も一緒なので、辛い時は励まし合って、受験の山を乗り越えてください。応援しています！

202 愛知教育大学 学校教員養成課程 特別支援教育専攻 合格

私が受験において重要だと感じるのは、ブレずに目標に向かっていくことです。私自身、テストや試験の結果に一喜一憂しやすく、勉強したことが発揮できなかったり望む結果が出なかったりすると、全てを投げ出したくなるぐらい落ち込みました。しかし目標をずっと見据えていたため、落ち込んでも次に向けての切り替えを早くできました。この目標は私の場合志望校合格だったのですが、志望校を迷っていても、「〇〇大学以上のところへ行く。」であったり、「今の偏差値から〇〇あげる。」というように、具体的な目標を設定するほうが良いです。受験勉強は思っている以上に辛いものです。しかし、自分に絶対的な目標を作ること、現状に縛られることがなくなると思います。闇雲に勉強するだけでなく、目標を定めて自分が向かう方向性を作ってあげることも、受験において必要だと考えます。

もう1つ重要なことがあります。それは同じ方向を向いている人の存在です。同じ方向を向いている人とは、クラスメイトや仲の良い友人の存在のことです。受験は団体戦だとよく言いますが、この1年を通してその通りだと感じました。学校には自分より遥かに早く受験が終わる人もいれば、3月まで頑張る人もいます。自分は自分だと割り切れれば良いのですが、3月に差し掛かると今までより周りで勉強する人が少なくなるため、とても孤独を感じました。そんな中最後まで頑張れたのは、まだ頑張っている人たちや友人の存在でした。友人の存在は勉強への刺激を貰えたり、勉強の息抜きにもなったりします。自分の悩みなどを共有することで解決につながったり、心が軽くなったりするため、私の受験期間で非常に支えになりました。追い詰められると1人で頑張りがちだと思いますが、そういうときこそ周りの友人に頼るべきだと考えます。自分と周りを信じて、受験が終わった時に納得できるような1年にしてください。心から応援しています。

203 愛知大学 経営学部 経営学科 合格

滋賀県立大学 人間文化学部 人間関係学科 合格

私が受験を通して大切だと思ったことをいくつか書きたいと思います。

まず1つ目は、早くからコツコツ勉強を続けることです。英単語や文法、古典単語などは一気には覚えられません。私は英語が苦手だったので毎日少しでも英語をやるようにしました。スクランブルはたくさん読みました。また長文も何個も読んでいると、だんだん慣れてきて英文に対する苦手意識が薄れていきました。苦手な教科こそコツコツ進めることが大事だと思います。それに早くから勉強を始めて損はないです。去年は学校が休校になってしまい、私はなかなか受験モードに切り替えることができず、休校の間はあまり勉強できていませんでした。しかし、あの時もっと勉強しておけばよかったとか、もっと早くから始めていればと後悔しました。みなさんには早めに受験モードに切り替えてほしいと思います。また、私立入試は学校によって問題の出題のされ方や出やすいところが異なるので、共通テスト対策だけでなく赤本を解くなどして私立対策も早めに始めておくことも大切です。

2つ目はきちんと学校に行くことです。私は家で勉強するよりも学校の方が集中できたので、補習がない日などは友達と残って勉強していました。やっぱり家だとスマホを見たりだらけてしまい集中できないけれど、学校だとみんなも頑張っているから自分も頑張ろうと思えるのでおすすめです。また、南高は多くの補習や特講を設けてくれているため、参加することも良いと思います。

3つ目は共通テストが終わっても気を抜かないことです。共通テストが終わってから私立入試や二次試験が始まるまで、時間はそんなにありません。早く切り替えないと後で焦ります。焦ると不安が大きくなり、本番で自分の力を出し切ることができないかもしれません。全力を出し切るためにも気を抜かず、次の試験に集中しましょう。

そして最後に、1番大切なことは諦めないことです。判定が悪くても、もう嫌だと思っても、最後まで諦めないでください。周りにも同じように頑張っている友達がいます。後悔しないように自分を信じて頑張ってください。応援しています。

204 愛知教育大学 学校教員養成課程 義務教育専攻 生活・総合専修 合格

特に印象に残っているのは、友達と業後に残って勉強したことです。職員室の前の廊下で残って、わからない問題は先生に聞きに行くなど、勉強へのやる気も上がっていたと思います。そして、先生方にはたくさんのことを教えてもらいました。勉強以外にも、私は、教育について、教えていただきました。先生方は私にはない視点、考え方を持っています。自分だけでは分からなかったこと、思いつかなかったことも自分なりに理解して、力をつけることにつながったと感じています。

また、問題の解き方や、勉強方法は人それぞれだと思います。私は、苦手な科目の勉強方法を友達に聞くなどして、それを試しました。例えば、国語は長文の選択肢があったら意味で分けるようにしました。そうすることで、本文と合っているか、いないかが確認しやすか

ったです。合っていないものにはバツ印を、グレーゾーンは三角の印をつけておくと考えやすかったです。英語のリスニングは、英語を聞く習慣を持った方がよかったなと思っています。頻繁に聞くと耳が慣れるそうです。

最後に、進路先が決まらないという人は、大学で学ぶ内容と特徴をよく調べてみてほしいです。進路を決めておくことで目標ができるからはやく決めたほうがいい、とよく言われます。ですが、私は「絶対にここ！」という気持ちをすぐにはつくれませんでした。周りのみんなが進路を決めているのに、自分は進路に自信が持てなくてもやもやしていました。そんな中で私がここで学びたい、という気持ちにつながったことが、前に挙げた2つです。私は生活科（小学校）の学習指導要領を読みました。生活科について理解を深めることで、生活科について学ぶことの魅力を知ることができました。そして、大学の特徴というのは、他の大学との違いです。私は希望していた私立と国公立で学べる内容が異っていました。そのため、生活科の魅力を知っていくほど、進路に自信が持てました。

体調を崩さないように気をつけて、最後まで頑張ってください！応援しています。

205 愛知教育大学 学校教員養成課程 特別支援教育専攻 合格

僕が受験で大事だと思ったことを伝えていきます。

1つ目はマイノートをつくることです。なにも直前期に急いでつくるのではなく、日頃から作成していくことが重要です。僕自身は定期テスト毎に、主に社会科目を対象に作成しました。テスト範囲の内容を年代順で並べ、重要単語や自分が理解しにくかった単語などは色を変えて記入し、自分なりに出来事の原因や背景を相関関係で図式にしました。その結果、受験直前になっても焦ることもなく、受験当日まで有効活用することができました。

2つ目は単語の暗記についてです。僕自身、3年生になってから単語の暗記にとっても苦労をしました。決して1、2年の頃にサボっていたわけではありません。小テストなどは毎日勉強をし、常に合格していました。しかし、それだけでは足りませんでした。なぜなら、その暗記は小テストの為のもので、テストが終わったら綺麗さっぱり忘れてしまっていたからです。それを回避する為には日頃から小テストの範囲だけでなく、単語帳全体を覚えていくことが重要です。WORDBOXでいえば、最初は1日10ページ、慣れたら1日STAGE1つ分、それを繰り返していけば3ヶ月後には1日でWORDBOX1冊をこなせるようになります。慣れです。やればできます。だから少しずつでいいので、早い時からやり進めることが重要だと思います。

3つ目は学校側のサポートをしっかりと享受することです。早朝や土曜の補習は勿論、個別指導も積極的にしてもらうべきです。一宮南は本当にサポートが厚い学校です。僕自身2次試験が小論文と面接であり、どちらも自分1人での勉強は限界がありました。小論文の練習では国語や社会の先生方から専属の指導員をつけてくださり、語彙や内容、書き方など大変有意義なことを教えてくださりました。面接練習では、担任の先生が空いている時間は

いつでも何時間でも指導してくださり、担任以外の先生も声を掛ければ練習に付き合ってください。土日関係なくいつでも指導していただき、ZOOM 等も使い長時間付き合ってください。このように、ぜひ学校というサービスを存分に活用してください。

まだまだ書きたいことはたくさんありますが、最後に一言。僕は一宮南高校に入ってとても良かったと考えています。勉強に部活、友達に行事、僕はここで多くのことを学びました。勉強も大事ですが、人生で一度きりの高校生活を最後まで楽しんでください。

206 横浜市立大学 国際教養学部 国際教養学科 合格

受験生になった皆さんへ、受験を終えた私から伝えたい事は二つあります。

まず1つ目は、「受験は団体戦」ということです。

きっとこれから1年間、皆さんはこの言葉を何度も何度も聞くことになるでしょう。

受験は個人の實力だから個人戦だと思うかもしれませんが、個人戦となるのは受験当日だけです。それ以外はすべて団体戦です。家族や友人、先生方など全てを含めての団体戦です。そして、学校が勉強の邪魔だからと言ってさばらないでください。そう思っている毎日学校に通っている人もいます。あなたの前や隣に座っている人も、皆あなたと同じ受験生です。また受験期は、進路に迷ったり点数が伸びなかったり、精神的につらい場面に何度も出くわします。そんな時は何度も受験生を近くで見て支えてきた先生方に相談したり、同じように悩む友達と共感しあったりと、周りに話すことで気が軽くなるものです。1人で抱え込まず、つらいときや困った時は周りを頼りましょう。支えてくれる人はきっといます。団体戦は何よりも心強いものです。みんなで頑張りましょう。

2つ目は「自分のスタイルを見つける」ということです。私の場合かなりの朝方だったので10時に勉強を終えて就寝し朝4時30分に起き、学校に行くまで復習や英単語を勉強していました。また、息抜きを制限しすぎると勉強効率が落ちてしまったので、1日40分はYouTubeをみて息抜きをしていました。受験は長期戦です。勉強の仕方やオンオフの切り替え方など、自分に合うものを今の形にとらわれず周りの意見を取り入れて、ベストなスタイルを見つけてください。

最後に、大学受験は本当に大変でつらいことばかりです。勉強していても成績が上がらなくて、自分を嫌になったりすることもあります。泣いたことも沢山あります。だけど何とか最後まで駆け抜けられました。受験生の皆さん、受験は甘くないです。だからこそ簡単に諦めないでください。完全燃焼してください。そしてなにより受験を楽しんでください。皆が自分の進路に納得して来年の春を迎えられることを願っています。応援しています。

207 静岡大学 理学部 数学科 合格

受験を振り返って大事だなと思うことを理由とともに書きます。

・授業は能動的に

やはり、ただ受動的に聞くだけの授業よりも、前のめりに積極的な姿勢で取り組む子の方が合格できていた印象です。

具体的には「先生の粗を見つけて質問してやる」くらいの心の持ち様でいいと思います。

・補習等には極力参加

受験が近づくと学校を休む人が増えてきますが、個人的には補習などには参加した方がいいと思います。

理由は1問から得られる経験値が違うからです。補習の問題は先生が考えて選んだ問題である上に、周りの友人も同じ問題を解きます。1つの問題について先生の解説や友達の考え方など様々な角度で見られるので、1人で解く以上の経験値が得られると思います。

・友人との勉強

先述の内容と被るようですが、本当に人と一緒に考える事は大事だと思います。自分の得意な科目でなくとも、その科目を得意としている人の考え方に触れることはかなり勉強になると思います。

・目標は高く

とりあえず、高い目標を言えばいいと思います

言うだけでは意味は当然ありませんが、言い続ければなんか勉強しないと、という気になるのでモチベーションになります。

・苦手対策は早く

よく言われる事ですがこれが1番難しいと思います。共通テストは本当に大事です。志望校に出願できるかどうかこれで決まるので、それぞれの苦手なことに早く立ち向かうことを頑張ってください

好きな教科だけでも楽しく勉強できたら辛さだけの受験にはならないと思うので、楽しく頑張ってください。

208 岐阜大学 工学部 機械工学科 合格

僕が受験を通して感じたことを伝えようと思います。

僕は1、2年生の頃は全くと言っていいほど勉強はしていませんでしたが、2年生の2月の共通テスト模試で399点を取ってしまい、周りと比べて勉強が遅れているという焦りや危機感を感じました。そんなとき学校が休校になってしまいました。そこで僕は周りが勉強していないであろうこの休校期間中に、勉強の遅れを取り戻すことを決意しました。

英語に関しては、ターゲット1900を買いsection15までを完璧にし、何周もする。長文を毎日1題以上解く。数学は、課題だけでなくチャートで苦手意識のある分野の例題を解く。物理は、学校で出された課題を理解するまで考え、それでも分からないことは友達に聞く。異なる解き方を試してみる。このようなことを休校期間中毎日6～8時間やりました。

この勉強習慣のおかげで、学校が再開してから家では当たり前のように机に向かうことができ、夏までには遅れを取り戻すどころか周りを追い抜くことができました。また、この頃すでに志望大学が決まっていたことも勉強が捗った1つの要因だと思います。

次に、受験は"団体戦"と何度も言われますがそれは本当だと思います。初めは僕も最終的にはライバルであり"個人戦"であると思って信じていませんでしたが、今思い返してみると、同じ受験をしている人と高め合えたり、悩みを相談したりできるのは"団体戦"ならではだと思います。この環境を作り上げてくれた学校と友達には感謝しかありません。

最後に、共通テストの自己採点をするまでは周りに笑われても絶対に志望校を下げてはいけません。どんなに模試の点数が悪くても、諦めずに自分を信じて努力し続ければきっとうまく行くはずです。応援しています。頑張ってください。

209 公立諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科 合格

僕の家は、一宮南高校から自転車で約一時間の場所にあります。朝5時半に起きて6時半に出発し、帰宅が夜8時になるときもあり辛かったですが、部活動も最後まで続け早朝補習も1年生からすべて行きました。この生活を3年間経験してきたからこそ、今の自分があるのだと思います。3年間部活動や早朝補習などを続けることはとても価値あることだと思うので、1年生から3年間頑張ってみてください。

一宮南高校の先生方は塾に行く必要はないとよくおっしゃっていたのですが、本当にその通りだと思います。一宮南高校の先生はとても熱心で3年生の時は土曜日に補習があることはもちろん、日曜日まで補習を開いてくださり、僕の苦手だった物理は3年生初期と比べてとても点数が上がりました。

この受験を通して感じたことは、まずはしっかりとした体調管理が大切だということです。僕は体があまり強いほうではなかったので、受験直前期には夜早めに寝ることを心掛け、朝早く起きるようにしていました。朝早く起きることで、受験本番の日の早い時間から始まる試験を乗り越えることができました。

次に学校での授業・補習にしっかりと取り組むことです。受験本番が迫ってくると「1人で集中して勉強できる時間が欲しい」と考えてしまうことが多々ありました。ですが、自分1人の勉強では自分の見えているところしか対策できないし、何より授業や補習だと一緒に闘っている友人の姿も見えるので、自分も「頑張らねば!」という気持ちになれます。一宮南高校の先生方は「受験は団体戦」とよくおっしゃっていたのですが、本当にその通りだと実感しました。

最後に、周りの人への感謝を決して忘れないでください。自分ひとりの力では、ここまでたどりつくことはできなかったと思います。家族・友人・先生方の支えがあってこそ合格でした。

210 富山大学 工学部 工学科 電気電子工学コース 合格

自分が体験した1年間をもとに、大事だと思ったことを紹介したいと思います。

僕は最初特に何もしたいことがなく、親にも金銭的に迷惑がかからないように就職の道に進もうとしていました。しかし、色々な先生方と色々な話をして大学受験に向けて勉強することを決断しました。最初は、「先生方がそんなに言うなら」や、「こんなに話をされるの正直めんどくさいから受験をしよう」という軽い気持ちでした。そして、それからやりたいことも目指すところもないまま、自分の負けず嫌いの精神にすがりながら勉強を続けました。

しかし、そのまま続けていくには限界がありました。そこで僕はまず、自分の少しでも興味のある大学ややりたいことなどを見つけてみようと思い、色々なことを調べました。調べていく中で富山大学の都市デザイン学部に行ってみたいと思い、勉強のやる気が出て、共通テストまでなんとか勉強を続けることができました。結果的に、都市デザイン学部のボーダーラインに達することが出来ず、工学部を受験し合格することが出来ました。

僕はこの1年間の体験からたくさんを感じました。なぜ人は大学卒業というレッテルに縛られているのかが、わかったような気がしました。まず、受験というものは世の中の多くの人が苦手とする「勉強」を自分が成し遂げるためにやるものだと思います。ここで苦手をどれだけ努力し、耐えられることができるかという忍耐力が大事になります。

そして、勉強というものは1人ではすることができません。最初に先生から授業などで学び、応用の問題を解いた時に必ずわからない問題が出てきます。それを先生や周りの友達に質問をし、教えてもらいます。逆に、質問されて教えてあげることもあります。ですから、絶対に1人では勉強というものは上達することが出来ないと思います。さらに、進路について相談をしてくれる先生や保護者など、たくさんの人々に支えてもらって1年間を戦い抜くことが出来ます。

ですから、1年間苦手なことでも我慢して、周りの人に頼って、周りの人に感謝を伝えながら頑張ってください。

211 静岡大学 工学部 化学バイオ工学科 合格

僕は家での自主勉をかなりサボる方でした。

3年後半にもなると平日5、6時間休日10時間以上やる人がザラに出てきます。僕にはとても無理でした。家ではスマホを触ってダラダラ過ごす、そんな1日ばかりでした。しかし、僕はそれほど大きな失敗はせず受験を乗り越えられました。もちろん家でしっかり勉強出来ていればもう1つ2つ上の大学を狙うことも出来たかもしれません。けれど、家での自主勉以上に大切なことは「授業」だと僕は感じました。授業では基礎から入り、ある程度の応用まで扱ってくれます。正直、難しい応用問題をいくらやっても自分の成長にはなかなか

繋がりにくいと感じました。基礎さえしっかり築けていれば応用力はあとでいくらでも身に着けることができます。授業の総まとめが受験という本番です。授業内容が完璧であれば、受験で通用します。冬休みあたりから、学校側が演習の場をたくさん用意してくれます。焦って自分でやりすぎる必要はありません。家でもやらなきゃ、と気負いすぎず適度に休んで、だけど授業にだけは真剣に向き合う。それだけでも十分です。定期テストなんかはとても良い復習の機会です。たまに定期テストなんか意味ないと言ってやらない人が3年になるといいますが、絶対にやるべきです。授業内容の見直しに直結します。勉強を頑張り始めるのに遅いなんてことはありません。やらなきゃと思ったその時がベストタイミングだと、僕は感じます。周りから出遅れたなんて思わず、自分のペースで最後までやり抜いてください。南高は本当に受験対策が手厚いです。最後まで一緒になって頑張ってくれる先生方についていけば間違いない！僕らの何倍も大変な先生方にいい報告が出来る様に！頑張れ受験生！！

212 福井大学 工学部 機械・システム工学科 合格

僕が受験の中でやっておいた方が良いと思うことをできるだけ多く書き記します。

まず、英語に関してはとにかく長文に触れること。単語や文法をできるようにしてからでは遅いので、最低限を押さえたら長文に取り組むことをおすすめします。演習していく中でわからないところがあっても、その長文で出会った単語、文法などを覚えていけば共通テストのある程度の単語と文法は対応できると思います。しかし共通テストは時間との勝負なので早く読む練習が必須です。わからないところを飛ばしたり、予測したりする練習もしておいた方が良いでしょう。理系向けになりますが、私立入試でも名城大学までであれば文法問題もそこまで多くなく、難易度も高くないので大丈夫だと個人的には思います。

次に、数学や物理に関して。理系科目で大事なのはパターン化すること。これである程度は解けます。数Ⅰの整数問題ならまずは因数分解をしてみて、できなかつたら条件から範囲をしぼる。倍数や余りについて場合分けをしてみる。数Ⅱの軌跡ならまず求めるものを (x,y) において他の変数を (s,t) などで置き、そこから s と t を消去して x と y の関係式を作る。これらはほんの一部ですが、このようなパターンを自分の中で増やしていくことが大事です。その上で、これらのパターンで解けなかったらどうしたらいいのかを考える。こうすれば思考力も身につきます。

そして多くの教科に共通することでは自分のミス进行分析することです。何を間違えたのか、どうして間違えたのかななどを毎回考え、メモしておくの良いでしょう。そこには計算ミスなどの細かいことも含め、一つのノートにまとめて書いておくとともに良いです。

ここに書き記したことはあくまで個人の見解であり、全員の役に立つとは思いません。特に難関大を目指す人にとっては、こんな単純な方法では合格は難しいかもしれません。それぞれのやり方があるし、自分がこうした方が良いと思うやり方があるならそれを持続すれば

良いと思います。受験勉強の参考程度にでもなれば幸いです。最後まで諦めず頑張ってください。応援しています。